

上の歯が出ている場合（上顎前突 2・しょうがくぜんつつ）

指しゃぶりや、口をいつもポカンと開けているなどの悪い習慣がある場合は上の歯が出てきます。程度がひどい場合や、遺伝が関係している場合などは時期をみて本格的な矯正装置（マルチブラケットシステム）を使って治療します。遺伝が関係している場合で、上顎の成長が良すぎる場合には永久歯を抜いて治療することがあります。このような場合を骨格性上顎前突と呼んでいます。写真の症例は上の永久歯（小臼歯）を2本抜いて治療していますが、口元は改善され全ての歯でがっちりと噛んでいます。矯正治療で使用する装置には色々な種類があります。私の診療所で使用していますマルチブラケットシステムは、装置自体は以前のものとは比べかなり目立たないようになっており、少し離れるとほとんど気づきません。少しでも矯正装置を入れることへの負担が軽減されるように心がけています。

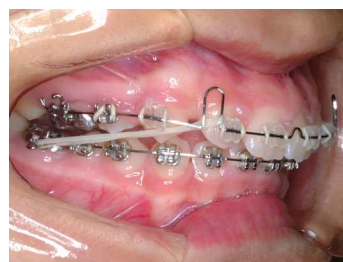
実際の治療例



初診時



治療開始



6ヶ月後



16ヶ月後



保定装置



保定装置

治療費概算

一般的な骨格性上顎前突で動的処置に16ヶ月掛かった場合

初診、相談料

無料

診査診断料

32,400円

施術基本料

442,000円（10回までの分割が可能です。）

処置料 5,400円×24回＝129,600円

動的処置中：歯を動かしている最中は3～4週ごと通院、17回

保定期間中：18ヶ月の間に7回程度通院

合計：604,000円

注：施術基本料には抜歯料金が含まれています。



TEL 095(857)8211

日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医 行成 哲弘